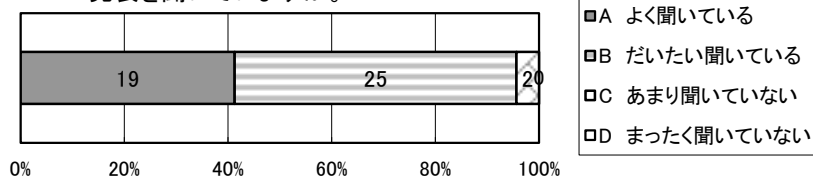


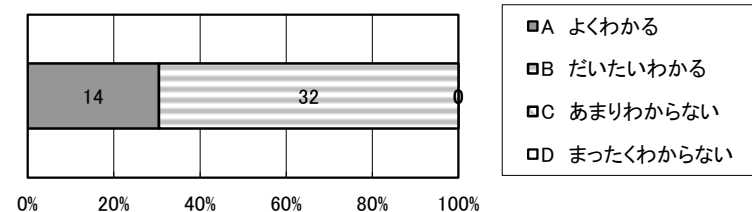
*** 4・5・6年の児童アンケート報告 ***

(1) 授業中先生の話や友だちの発表を聞いていますか。



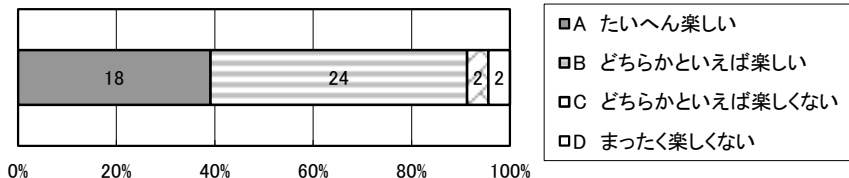
よく聞いている・だいたい聞いていると答えた児童を合わせると、96%です。「聞いて理解する力」は「見て理解する力」よりも難しいことが研究から裏付けられています。聞く力を育てるために連絡帳を黒板に書かず、聞き取りで書かせている学校もあります。本校でも友達の発表はしっかり最後まで聞くように指導したり、英語では「ヒアリング」を大切にしています。

(2) あなたは、授業の内容がわかりますか。



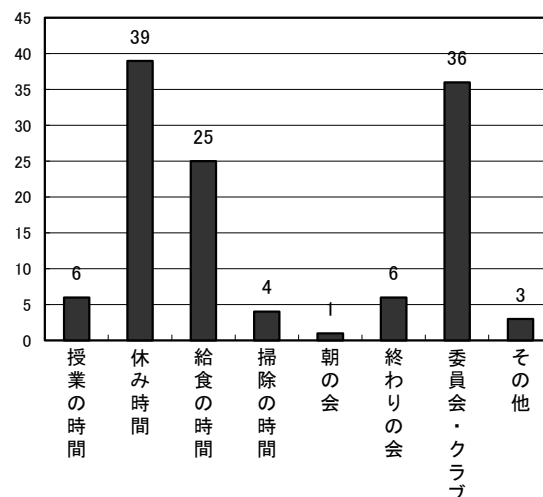
回答した全員の児童が、授業の内容がよくわかる、だいたいわかると答えています。本校では研究授業や研修を通して教員の授業力向上に取り組んでいます。また、算数科ではT. T(教員2人体制)の授業や少人数の習熟度別分割授業を、また5・6年理科でもT. T. の授業を行っております。これからも全体指導だけでなく、児童の実態を把握して、個別指導や補習対応などに配慮し、学習面でも「やさしさと笑顔いっぱい」の学校を目指していきます。

(3) あなたは、今の学校が楽しいですか。



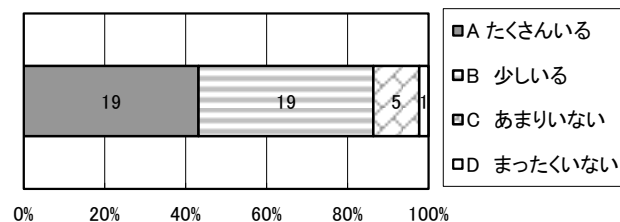
肯定的な評価の割合も高いのですが、「どちらかといえば楽しくない」「まったく楽しくない」と答えた児童も二人ずついます。「楽しくない」と感じる要因は様々あると考えられますが、「心と体とくらしのアンケート」等を通じて「楽しくない」原因を分析し、児童全員が、一人ひとりの良さを認め、生かしながら、集団生活の中での自尊感情を高められる学校をめざし、努力して参ります。

(4) あなたは、学校の時間で何の時間が楽しいですか。

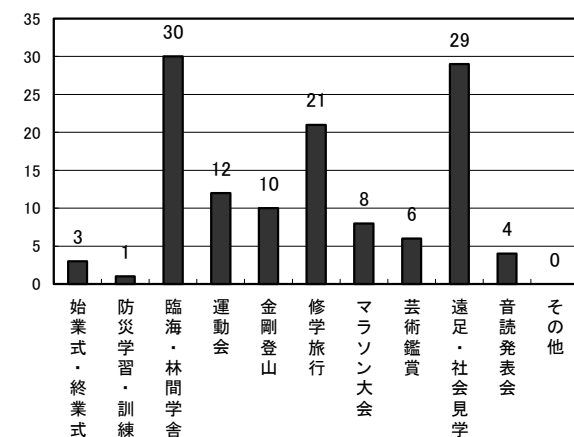


学校での楽しい時間ベスト3は、①休み時間、②委員会・クラブ、③給食の時間です。この傾向は毎年の調査と変わりがありません。学習ではテストがあつたり難しい問題があつたりして、楽しいと思うことばかりではありません。それだけに例え10分であっても自分の自由にできる時間や、興味・関心に基づいた活動を児童が好むのは当然のことだと考えています。千早赤阪村の給食は栄養価を考え、おいしく、温かいものを提供することによって児童の健康を守り、生涯にわたって健全な食生活の習慣を付けることを目標にしています。

(6) 学校にあなたの気持ちをわかってくれる友だちがいますか。



(5) あなたは、学校行事の中で何の行事が楽しいですか。



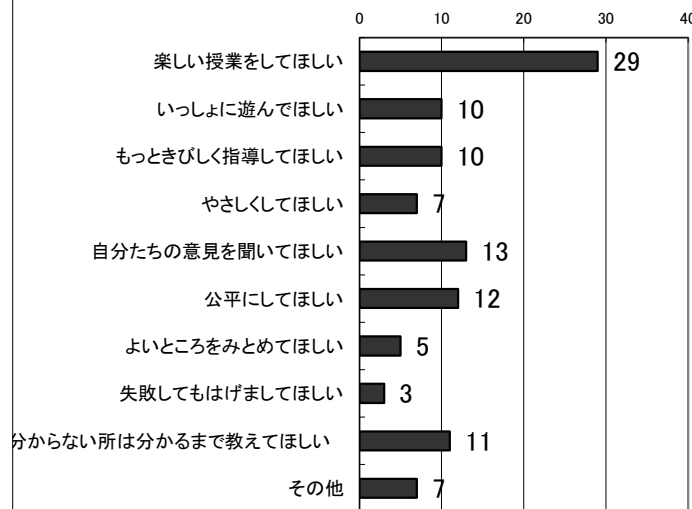
臨海・林間学舎、修学旅行などの宿泊行事は、子供たちには旅行の感覚があるのか大人気です。ただ、家族や友達と行く旅とは違い、児童同士の交流であつたり、体力強化であつたりと必ず「めあて」があります。その達成のための行事です。

しかし、友達と寝泊まりする、ひとときは児童にとって、かけがえのないひとときなのでしょう。6年生の卒業文集などにも思い出として語られることが多いです。マラソン大会や金剛登山など、体力的にはきつけれども達成感がある行事にも「楽しい」と感じる魅力があるようです。また、芸術鑑賞会や音読発表会などが楽しいと感じる児童もおり、当校では、「認め合い、協力し合う」という観点からも一つに偏ることなく友達とは違う価値観を「楽しい」と感じる児童が多いことを好ましいと考えています。

約86%の児童が、気持ちをわかってくれる友だちがいると答えています。しかし、まったくいないと答えた子が1名、あまりいないと答えた子も5名いました。単学級の小規模校はクラス替えもなく、新しい出会いの場は多くありません。

個別の相談活動に力を入れるとともに、普段から児童との関わりを深くし、少しのサインも見逃さないよう努力します。関係諸機関とも連携しながら、学級や異年齢集団である「なかよし班」での縦割り活動を中心に、学校全体での「仲間づくり」を推進し、「いじめ」に繋がる芽の早期発見に努めます。

(7)先生に特に希望することはどんなことですか。

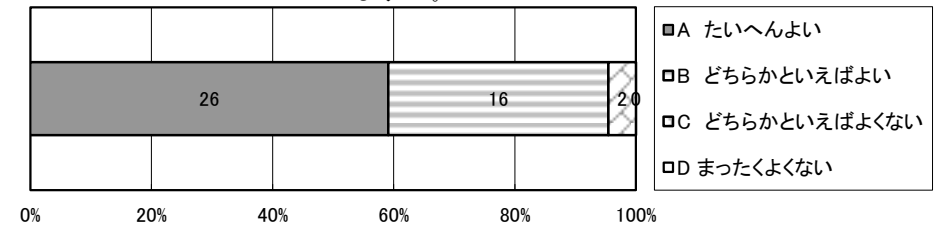


子供たちの先生に期待することは、大きく分けて授業に関する希望と指導面に関する希望に大別できます。

子供たちは、誰でも「勉強が分かるようになりたい」「理解できるまで教えて欲しい」という気持ちを持っています。それは、学校生活の大部分が授業で構成されていることを考えれば当然のことです。その希望に答えるべく当校では算数において習熟度別で学習したり、中学校から理科の先生に来てもらい、より専門的な知識を教えてもらうなどの制度を活用するとともに研究授業を実施し教員の授業力を高めてきました。今年度は道徳の教科化を見据え道徳の研修を積み重ねました。今後とも児童の学力が伸びるよう取り組んで参ります。

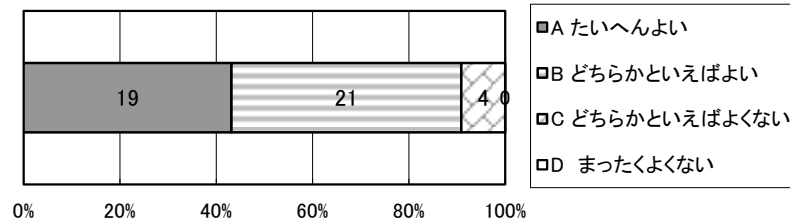
生活指導面で、子供たちの意見に耳を傾けるのは、当然ですが、やはり叱らないといけない場面は、毅然として対応することが必要です。学校として、児童が納得でき、指導が児童の成長に繋がるよう心がけていきます。

(8)教科によって担任以外の先生が授業をすることについてどう思いますか。



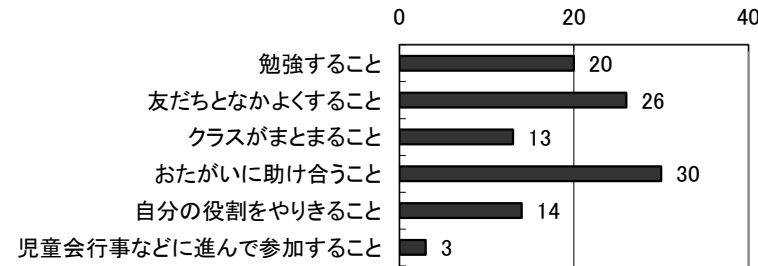
担任以外のいろいろな先生の授業を受けることを望んでいる児童がほぼ全員でした。そうではない児童も、わずかですがいます。いろいろな教師の専門性や個性に触れることは、社会性を培う上では大切なことです。小規模校ですので全員の教師が全ての子供に関われるように努力しています。これからより多くの教師が関わられるようにし、児童の成長が促進されるよう情報共有しながら集団指導体制で頑張っていきます。

(9)あなたは、二人以上の先生に教えてもらったり、少ない人数で授業を受けたりすることについてどう思いますか。



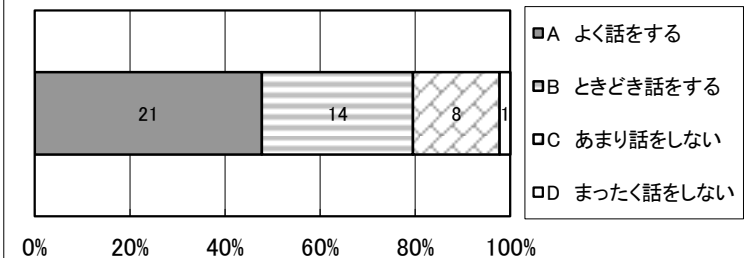
設問(2)でも触れましたが、授業方法の工夫・改善のため、算数科を中心にT.T.(教員2人体制)の授業、少人数の習熟度別分割授業を取り入れています。多くの児童が、それらを肯定的にとらえています。個に応じた学習など、今後も一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導を進めるとともに、「どちらかといえばよくない」という回答も複数ありますので、何が良くないのかを具体的に、個の課題に応じた授業のあり方を研究して実践を進め、学びやすく、分かりやすい授業ができるよう、努力を続けて参ります。

(10)学校生活で特に大切だと思うことは何ですか。



友達と仲良くしたり、助け合ったりすることが大切である、と考えている児童がたくさんいます。優しさと思いやりを持った千早小吹台小学校の児童らしい回答です。良い友達を得るには、まず自分が公正、公平で正しい心を持つことです。教員は子供たちの言葉にしっかりと耳を傾けるとともに行動を見ている。人は、言葉よりもより行動に本心が表れることが多いからです。職員一同、児童が大人になってもより良い人間関係を築いていける基礎を作っていくため毎日取り組んでいます。

(11)あなたは、お家の方に学校のことを話しますか。



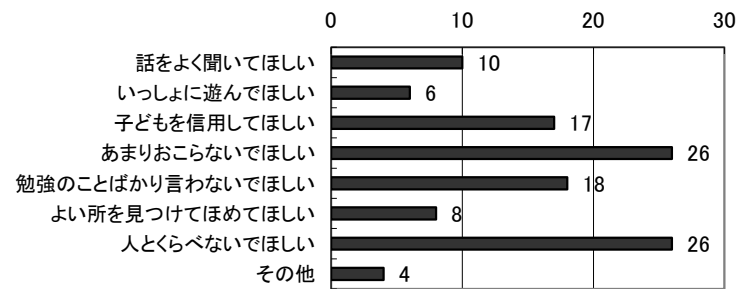
共働きのご家庭も多く、また、塾や習い事に行くお子さんも多い中、親子の会話に費やせる時間は限られていることと思います。その限られた時間の中でそれと同時にお子さんの表情や行動、などにも気をつけていただき、気になることがありましたら学校にご相談下さい。学校にとっても保護者の方々からいただく情報は貴重であり、指導の助けになります。これからご家庭と良い関係を続けていき児童を育成できればと考えております。

先生の話をよく聞くこと	12
約束を守ること	11
その他	0

また、クラスがまとまることや約束を守ることなどのふだん目立つことのない価値観にも目を向けてくれていることは大変嬉しいことです。

また、児童との会話のきっかけに学校だよりや学年だよりも、ぜひご活用ください。本校ホームページの更新にも、引き続き努めて参ります。それらのご家庭での話題作りの一助となれば、幸いです。

(12) おうちの方に特にしてほしいことは何ですか。

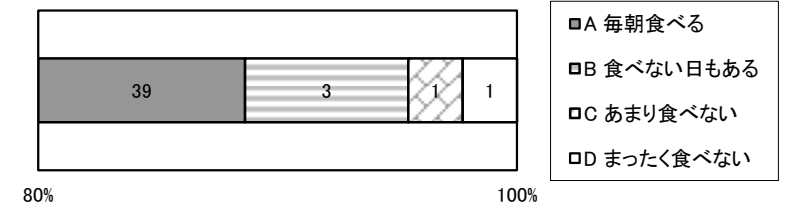


「あまりおこらないでほしい」「人とくらべないでほしい」が同数で児童の願いのトップにきています。

また、その他の意見にも「勉強を教えてほしい」「なんでも、かんでもいわないでほしい」「していることに文句を言わないでほしい」「お小遣いが欲しい」などがありました。

全体的な傾向を受け止めていただく中で、それぞれのお子さんとのかわりについて、何かご参考になれば幸いです。

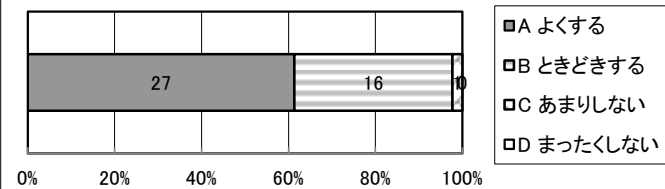
(15) あなたは朝ごはんを食べていますか。



朝食を毎朝食べることは、健康な生活には欠かせないことです。そのため、千早赤阪村では、栄養教諭が給食の指導や食育の授業を行い「朝食の重要性」も含め、食育の推進に努めております。今年度は、「お箸の使い方」や「お魚の食べ方」に力点を置いた指導や郷土食について理解を深める授業をしました。

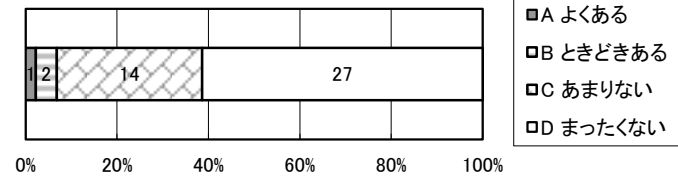
学校で児童が不調を訴えたり、イライラしたり、授業中に集中が続きなかつたりするのは、朝ごはんを食べていないことと関連があるという調査結果もあります。学校では毎月、「こころと体とくらしのアンケート」を実施し、児童の心身状態を把握し、より良い生活習慣・学習習慣の定着にむけての指導・支援を行っております。今後もぜひ、朝食を食べて登校できるようご協力をお願いいたします。

(13) あなたは、近所の方に会ったらあいさつしますか。



日ごろから、近所の人とよくあいさつができています。子供と地域の方々との関わりが強い、この地域の良さが表れています。実際、いろいろな場面で、地域の方から挨拶だけでなく、温かいお声や行事の協力をいただいています。とても感謝しております。今後も、「あいさつ運動」などを地域の方々と共に取り組みを進めて、自分から進んであいさつできる児童の育成に努力して参ります。

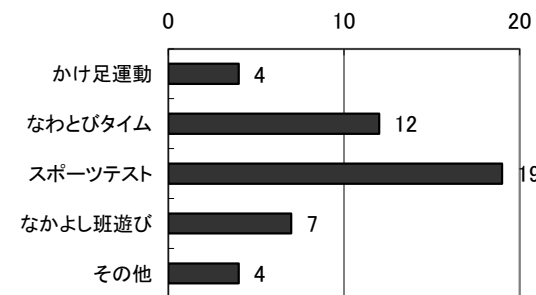
(14) 近所の方からあなたのしたことで注意されたことがありますか。



注意されないに越したことはありません。しかし、万が一、子供が大きなケガや命に関わるような失敗をしそうときには、大人の方で子供を守ることをお願いいたします。

千早小吹台小学校の校区では、「子ども見守り隊」の方をはじめ地域の方々にご協力いただき、声かけやあいさつを手厚くいただいております。子供と地域の方との関わりは大切ですので、子供たちへの温かい関わりを、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(17) 体力作りの大切さや運動の楽しさを感じるのはいずれですか。



スポーツテストが断然多い結果となりましたが、これは、運動の楽しさを感じることも、結果がデータ(数値記録)としてはっきりと出ること、「体力作りの大切さ」を実感する機会となっているからだと判断しています。スポーツテストの結果は、分析を行い、日ごろの体育の授業や様々な運動体験に傾向や課題を反映させるように努めております。

スポーツテストだけでなく、さまざまな場面で、児童自身が体力作りの大切さや運動の楽しさを意識できるようにし、当校の児童が生涯を通じて健康で安全な暮らしができるよう食育と関連させ児童を成長させていくよう努力いたします。

(16) 道徳の時間に、特にみんなと考えたいことは何ですか。



道徳は4月から、「道徳科」として授業や評価の方法が大きく変わります。教科書があり、数値ではありませんが評価(文章表記)も行います。授業に関しては、問題解決的な学習や体験学習的な活動を取り入れ、児童が多面的、多角的に物事を考えられるよう教育課程を作成します。

当校の児童は、命や自然のことにも関心を向け、全員で考えようとしています。ふだん考えないことを取り上げ、友達とともに考えていこうとする姿勢は、素晴らしいことだと考えています。